ふじさわネット通信

2013年６月　　第12号

発行　みんなの教育・ふじさわネット
代表　　松本　一郎
TEL･FAX　0466-33-4820

教科書問題学習会 4/27

安倍政権『教育再生』で 教育は そして 教科書は

講師 俵 義文氏(子どもと教科書全国ネット 21 事務局長)

４月 27 日藤沢市労働会館で、教科書問題学習会を開催しました。パワーポイントを使い育鵬社の歴史教科書と公民教科書の問題点を整理した後、俵氏の講演、質疑応答。学習会終了後会場を変えて引き続き質疑応答。深みのある学習会となりました。

☆「講演」と「質問に答えて」をすべて収録した DVD をおわけします(100 円)。

講演する
俵 義文氏

～ 参加された方のアンケートから ～

・主婦です。孫たちがこれから社会の事を学んでいくのに、どのような教科書が使われるのか心配でしたが、今日の学習会で知ることができました。より良い教科書を孫たちに与えたいと思います。教育とは何なのか。母親や父親、先生、地域を含め、もっと話し合う必要があると思います。

・①パワーポイントを使った育鵬社の教科書指導書ワークブックの問題点がわかりやすかった。②俵さんのお話は、安倍内閣の「教育再生」の中味がとてもよくわかった。まわりの人たちに、この話の内容を広げていきたいと思った。

・今春、娘が中学に入学し、育鵬社の教科書で学び始めています。これで学んだ子供たちは将来どのような歴史認識で海外の方とお付き合いをしていくのかが不安です。また、保護者は子供たちがこの教科書で学んでいることに、ほとんど関心がないようです。靖国参拝などで、中国や韓国からの反発がすごいのに、こういった歴史を習ってしまうと、その意味すら分からないですよね。入学式で市内の全中学校にチラシをまくというのはとても大変でしたが、大きな意味があったと思います。出席者に中学生の保護者の年代の方がちょっと少なくて残念です。

・安倍自民党は保守政党ではなくなり、極右政党になっていて、支持基盤は右翼、したがって右翼の要求に応えないといけない、そのことは国民多数の願いと相容れないことに必ずなってくる‥‥という展望が得られました。・大変勉強になり、これからの指針としたい。

神奈川県母親大会で藤沢の教科書問題を訴える4/20

戸塚から講師依頼　横への広がりと協同

講演に先立ち、近藤さんが、育鵬社教科書用のワークブックをスクリーンに映し、太平洋戦争を「自存自衛のためのものであり、アジア諸国の独立をも助けた」を正答とし、侵略戦争ではなかったという歴史観へと子どもたちを誘導する手立てと危険性を説明しました。

戸塚教科書連絡会から、戸塚の学習会でもぜひ話してほしいと依頼があり、６月 16 日(日)13 時、戸塚地区センターでの学習会に近藤さんが講師として参加します。藤沢を越えて、運動は広がっていきます。

『この制度が許可されたら一息つけそうです』　協力・共同の力は大きい

「入学おめでとうちらし」、大きな力になりました(配布参加者から)

私は「入学おめでとうちらし」を毎年、小学校を中心に配布しています。今年は教育ネットと共同し、さらに有志の方々の協力で、初めてすべての中学校でも配布することが出来ました。

就学援助申請の説明・記入会は参加者の都合により２回行い、13 人の方がみえました。電話問い合わせも６件ありました。学校から全員に配布されている案内なのですが、『学校からのプリントが見あたらず校門前で受け取った「入学おめでとうちらし」で知った』、『申し込みをどうすればいいのか』等、用意した申込書が足りなくなるほどでした。ここ数年は保護者のリストラや病気という方が多かったのですが、今年は片親家庭、祖父家庭、自営業で収入が不安定という方等でした。『弟が父子家庭で説明会にも来れないので』と用紙を持ち帰られた方もいました。また『この制度が許可されたら一息つけそうです』との母子家庭の方や、父子家庭にも援助がほしいとの声もありました。

今までまききれていなかった中学校の保護者の参加や電話問い合わせが何件もあり、この制度が待たれていることを感じました。

ちらしの配布は「１日仕事」になった方もありましたが、協力・共同の力の大きさを感じました。

生涯学習部　市長部局へ　　独立性･中立性は確保されるか？

右の図は、2013 年 1 月の教育委員会定例会に提案された組織改編に関する資料の一部です。2 月の市議会で承認され生涯学習部は市長部局に移されました。生涯学習総務部、郷土歴史課、文化芸術課、スポーツ推進課、総合市民図書館が設けられています。

独立した教育委員会から離れ、市長部局におかれたことで、市民主導ではなく首長主導の文化活動、利益誘導に陥らないか、注視しましょう。

学び合い　語り合い　豊かな教育実践を

第48回神奈川夏の教育研究大会

主催：神奈川県民間教育研究団体協議会　　後援：神奈川県教育委員会・藤沢市教育委員会

日時：2013 年 8 月 18 日【日】9:00 ～ 16:30 会場：湘南学園小学校（藤沢市鵠沼松が岡）

大会テーマ

子どもの発達を促す楽しく分かる授業の創造を！
子どもの人権を大切にする学校に！
教職員・父母・地域とともに進める教育を！

記念講演

子どもたちの すこやかな成長を
三上　満

今年の夏も、神奈川の教育サークルの集まりである神奈川県民間教育研究団体協議会が主催する教育研究集会が、藤沢市の湘南学園小学校を会場に行われます。午前、三上満氏の記念講演、午後は分科会に分かれ、発表・討論が行われます。参加費は一般・学生は 500 円、教職員は 1500 円です。

【宛先・問い合わせ先】国澤　誠　〒 249-0003　逗子市池子 3-18-5 ☎・fax 046-873-7124
E-mail；wamk136@jcom.home.ne.jp